

意見書様式（修正文案用）

資料1

（新たな振興計画（中間取りまとめ）【新たな振興計画（素案）に対する審議経過】への意見）

部会名：農林水産業振興部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	県の考え方 ※議論を踏まえ審議結果として取りまとめ予定	対象回	意見者	担当課
1	4	44	4	土砂の適切な除去を進めるなど、新たな取組を含め総合的な赤土等流出防止対策の強化に取り組みます。	土砂の適切な除去を進めるなど、新たな 取り組み or 取組み を含め総合的な赤土等流出防止対策の強化に取り組みます。	取組に送り仮名が必要→取り組みor取組み(文章の統一)	【原文どおり】 名詞の「取組」は、送り仮名を付けない表記で統一しているため、原文どおりをしたいと考えております。	第5回	谷口委員	企画部企画調整課
2	4	120	4	(7) 亜熱帯・海洋性気候を生かした持続可能な農林水産業の振興	(7) 亜熱帯海洋性気候 を生かした持続可能な農林水産業の振興	亜熱帯と海洋性気候を中点・で区切る理由がよく分からない。慣習的に亜熱帯海洋性気候という用語は通常に使用されている。中点・があることで意味不明な用語になる。以下の文章も同様である。	【原文どおり】 沖縄振興基本方針(平成24年5月11日内閣総理大臣決定)及び沖縄振興審議会総合部会専門委員会調査審議結果最終報告(令和3年8月)において「亜熱帯・海洋性」の記載があり、同様の表現とするため原文どおりをしたいと考えております。	第5回	谷口委員	企画部企画調整課
3	4	127	2	先端技術を利用し、多様なニーズや気候変動等に対応した農林水産物品種の開発に取り組みます。	先端技術を利用し、多様なニーズや気候変動等に 伴う突発的な病虫害や気象害 に対応した農林水産物品種の開発に取り組みます。	「伴う突発的な病虫害や気象害に」を加筆し、品種の開発目標が「病虫害」、「気象害」であることを明瞭にする。	【原文どおり】 品種開発目標は、「病虫害」や「気象災害」のみならず、それらを含めた生産性の改善や品質、生産・飼育管理等の改善などを目的とする多様なニーズに対応したものであることから、原案どおりとしたい。	第5回	谷口委員	農林水産総務課(研究企画班)

意見書様式（修正文案用）

（新たな振興計画（中間取りまとめ）【新たな振興計画（素案）に対する審議経過】への意見）

部会名：農林水産業振興部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	県の考え方 ※議論を踏まえ審議結果として取りまとめ予定	対象回	意見者	担当課
4	4	128	6	自然環境に配慮した森林施業と亜熱帯・海洋性気候を生かした早生樹等による森林づくりに取り組みます。	自然環境に配慮した森林施業と先人(あるいは先達)が営々と造成してきた人工林や天然生林に蓄積される木材資源を将来世代に健全な状態で確実に引き渡すための森林管理、亜熱帯・海洋性気候を生かした早生樹等による森林づくりに取り組みます。	林業あるいは森林業は過去からの木質資源をきちんと管理し、次世代にきちんと引き渡す息の長い営々とした産業でもある。この文言を加筆することで「沖繩の林業」の重厚さを伝える必要がある。早生樹だけで林業は経営できない。目先の事ばかりの施策になってはいけない。100年、200年の将来を見据えた計をどうするか姿勢を示すべき。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 意見を踏まえて、下記とおり修正します。 生物多様性に富んだ自然環境が保全されつつ、森からの恵みを将来にわたって享受できるよう、自然環境に配慮した森林施業と亜熱帯・海洋性気候を生かした早生樹等による森林づくりに取り組みます。 (※早生樹のみならず、これまで造林してきた樹種や天然生林などを活用した森づくりを推進していくことから、早生樹「等」と記載しているところです。)	第5回	谷口委員	森林管理課
5	4	128	6	自然環境に配慮した森林施業と亜熱帯・海洋性気候を生かした早生樹等による森林づくりに取り組みます。	自然環境に配慮した森林施業と亜熱帯海洋性気候を活かした早生樹等による森林づくりに取り組みます。	この場合に相応しい言葉を選択すべき。	【原文どおり】 「活かした」は常用漢字ではないことから、記載しない方針としております。そのため、原文どおりにしたいと考えております。	第5回	谷口委員	企画部企画調整課
6	4	128	9	適正な森林整備を推進するとともに、森林病虫害の生態特性等に応じた防除に取り組みます。	適正な森林整備を推進するとともに、気候変動にともない突発的に大発生する森林病虫害の生態特性等にに応じた防除に取り組みます。	現在実施している森林病虫害の防除以外に突発的な種類も視野に入れていくという姿勢を示すべき。	【原文どおり】 既存の森林病虫害に加え、突発的に大発生する種類の病虫害対策も重要なことから、原文の「生態特性等にに応じた防除」のなかで、取り組んで行きたいと考えております。	第5回	谷口委員	森林管理課

意見書様式（修正文案用）

資料1

（新たな振興計画（中間取りまとめ）【新たな振興計画（素案）に対する審議経過】への意見）

部会名： 農林水産業振興部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	県の考え方 ※議論を踏まえ審議結果として取りまとめ予定	対象回	意見者	担当課
7	6	216	6	自然環境に配慮した森林施業に取り組みます。	自然環境に配慮した森林施業(やんばる型森林業推進方策)に取り組みます。	現在進行している施策名を加筆して、その内容を示すことは県民や国民を納得させる効果がある。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 意見を踏まえて、下記とおり修正します。 また、世界自然遺産に登録された沖縄島北部においては、原生的自然林の保全を重視する自然環境保全区域や、持続的な林業生産を目指す林業生産区域など、森林の重視すべき機能に応じた利用区分(ゾーニング)に基づき、自然環境に配慮した森林施業(やんばる型森林業の推進)に取り組みます。	第5回	谷口委員	森林管理課
8	6	232	16	ススキ、ギンネム等が繁茂する荒廃林地については、森林の持つ多面的な機能の早期発現に向け森林整備を促進します。	ススキ、ギンネム等が繁茂する荒廃林地については、森林の持つ多面的な機能の早期発現に向け森林整備を促進します。	意味不明。多様な機能を早期に発揮させる。発現ではない。発現は機能を発揮させた結果である。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 意見を踏まえて、下記とおり修正します。 ススキ、ギンネム等が繁茂する荒廃林地については、森林の持つ多面的な機能を早期に発揮するため、立地条件等を考慮した森林整備を促進します。	第5回	谷口委員	森林管理課
9	6	232	16	ススキ、ギンネム等が繁茂する荒廃林地については、森林の持つ多面的な機能の早期発現に向け森林整備を促進します。	ススキ、ギンネム等が繁茂する荒廃林地については、森林の持つ多面的な機能の早期発現に向け、特殊な土壌環境に合致した樹林を成立させるための森林整備を促進します。	南部圏域の特殊な土壌タイプでの森林造成は大変に困難である・この現実の元、新たに荒廃林地を樹林化する壮大な目標を日本国内に示すべき。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 意見を踏まえて、下記とおり修正します。 ススキ、ギンネム等が繁茂する荒廃林地については、森林の持つ多面的な機能を早期に発揮するため、立地条件等を考慮した森林整備を促進します。	第5回	谷口委員	森林管理課

意見書様式（修正文案用）

資料1

（新たな振興計画（中間取りまとめ）【新たな振興計画（素案）に対する審議経過】への意見）

部会名：農林水産業振興部会

番号	章	頁	行	新たな振興計画(素案)本文	意見(修正文案等)	理由等	県の考え方 ※議論を踏まえ審議結果として取りまとめ予定	対象回	意見者	担当課
10	6	248	30	(新規)	八重山圏域の記述のなかで林業生産に関する記述を付記する必要はないか。林産物を含め林業生産の品目や項目はあると思われる。	八重山圏域の記述のなかで林業生産に関する記述を付記する必要はないか。林産物を含め林業生産の品目や項目はあると思われる。	【委員意見を踏まえ該当箇所を修正】 意見を踏まえて、下記とおり修正します。 森林の持つ多面的な機能を持続的に発揮させるため、適正な森林整備に取り組むとともに、 <u>リュウキュウマツ</u> など森林資源の多様な利活用を図ります。	第5回	谷口委員	森林管理課

第71回沖縄県振興審議会（R3.10.29開催） 委員意見への対応方針（案）

（別紙様式）

No.	意見概要	委員名	対応方針			
			対応区分	考え方	担当部会	担当課
10	<p>農林水産業の振興発展に様々な工夫を凝らして経済の活性化、雇用の維持拡大を目指すべきではないか。</p> <p>令和2年6月に法整備された「特定地域づくり事業協同組合制度」を活用することで、農林水産業、製造業、建設業、運送業等の異業種相互に経営資源や人材を補完し合いながら各産業の活性化や雇用の維持拡大が可能である。</p>	上里芳弘委員	③その他	<p>特定地域づくり事業協同組合制度は、必要な労働力が季節的に増減する農林水産業分野における労働力の確保対策として、特に離島地域では有効な手段の一つと考えられます。</p> <p>当制度の周知を図るとともに、市町村等と十分に意見交換しながら検討したいと思います。</p>	農林水産業振興部会	農林水産総務課